《こども版》 としょかんだより No.262

2005年

わくわく本だは 12月号

富山市立図書館

令月のおすすめ

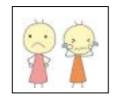


= 1・2年

= 3・4年

= 5・6年

- あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします -



「**なんでもふたつ 」 (えほん)** リリー・トイ・ホン / 作 評論社 ハクタクおじいさんが庭をたがやしていると、古いかめがでてきました。 それは、中に入れたものが、なんでもふたつになるという、ふしぎなかめでした。 きんかを入れると「倍にふえて、お金もちになりましたが...。

「 **耳かきのすきな王さま 」** 小薗江 圭子/作 講談社 人の耳をかくのが大すきな王さまがいました。あんまり耳をかきすぎて、けらいたちの耳にあながあき、はなしかけても、声が通りぬけてしまいます。王さまのめいれいもわからず、みんな大よわりです。





「 モンスター学園 テレビ・デビューは大さわぎ 」

舟崎 克彦/作 ポプラ社

ドラキョンたちモンスターでうる。のみんなは、テレビ局にさそわれて都会に行くことになりました。透明人間のミス・ミストの心配をよそに、ガイコツ校長とみんなは心ウキウキで、超人気番組「朝からテレビ」に生出演します。

「子どものための 敬語の本 1 きほんのあいさつ」

ながた みかこ/作 汐文社

初めて会った人や、首上の人と話すときは、敬語を使いますね。 敬語は、尊敬や感謝の心を表したていねいなことばです。 じょうずに 使えばみんな気分がよくなり、なかよくすごせるようになります。



あたらしくはいったな

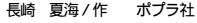
えほん

「 **ぼくの かわいくない いもうと** 」 浜田 桂子/作 ポプラ社 ぼくは2年生。1年生のいもうとがいるけれど、おしゃべりで、 でしゃばりで、ぜんぜんかわいくありません。つきまとわれて、 ほんとうにめいわくです。いもうとなんか、いなけりゃいいのに!

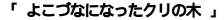


ものがたり

「 びゅーん! こがらし ごう ~ミナモとキースケのたからさがし~ 」



キースケが「ちきゅうって、いつかほろびるんだよ」と、おちこんでいました。 だけどミナモは、「今しか歩けないちきゅうを、たんけんをしよう」といいます。 さっそく、こがらしのふくさむい日、二人はとなり町へたんけんに出かけました。



稲本 昭治/作 文研出版

ヤスシは、クリの美をとろうとして目にけがをしました。 そのせいで、クリの木を切ってしまおうという話がもちあがります。 でもヤスシは、思い出のある木を、ぜったいに守ろうと決心しました。



「いたずら魔女のノシーとマーム 秘密の呪文」

ケイト・ソーンダズ/作 小峰書店

魔女のノシーとマームは、大のなかよし。いたずらしすぎて、魔女の 女王をおこらせ、追放されてしまいます。人間の町にたどりついた二人は、 教会の塔にすみつきますが、そこにはおそろしい家政婦がいました。



「 三人だけの山村留学 」

中山 聖子/作 学研

都会でくらしていた五年生の主と友一、有里の三人は、それぞれに 家庭の事情があり、夏休みに山村留学をすることになりました。 いなかの生活にとまどいながら、地元の子どもたちとすごすうち、 心のきずが、いやされていきます。



ちしきの本



「はばたけ!先生」 くさば よしみ/作 フレーベル館 学校には、たくさんの先生が働いています。先生の仕事は、 教室で勉強を教えること。でも本当にそれだけでしょうか? 放課後の先生の仕事や、先生になる方法がわかります。

「落ち葉」 平山 和子/作 福音館書店

色づいた木の葉が、一まい一まい ちりはじめました。落ち葉は緑色から茶色や、赤や黄へとかわっていきます。木の種類や場所によって、色も、もようもちがいます。いろいろな落ち葉の写真が美しい本です。







さむくなると、室内で遊ぶことが多くなりますね。友だちやかぞくで こんな遊びを楽しんでみてはいかがでしょう!

「おてだまのたね」(えほん) 織茂 恭子/作 福音館書店 造所のおばあちゃんにもらったお手玉で、子どもたちが遊んでいると、おやおや、ぬいめがほころびて中身がとび出してきましたよ。

「 先生も親も子どももできる びっくり手品あそび 」

三宅 邦夫/作 黎明書房

うのまわりの道具でできる楽しい手品がいっぱい! かんたんそうでむずかしかったり、その反対だったり。



「 なにもなくても ~ことばあそび絵本~ 」 織田 道代/作 福音館書店 十二しゅるいのことばあそびがのっています。しりとりの反対の「あたまとり」 って、知っていましたか? さあ、あなたもちょうせんしてみましょう。



「遊び 日本人の20世紀・くらしのうつりかわり 」

梨岡 基雅/作 小峰書店

百年前は、どんな遊びをしていたのかな? みんなで工夫して、 楽しく遊んでいたようです。今では、ひとりでテレビゲームを する子どもがふえ、遊びもずいぶん変わりました。



12がつのこよみ

十二月は一年のおわり、冬のはじまりです。 そして、クリスマスやもちつきなど、たのしい行事がたくさんある月です。 かぜをひかないよう、元気に一年をしめくくりましょう。

《 きょうは何の日? 》

12月1日 お年玉つきねんがはがき のはじまりの日(昭和24年)

12月22日 冬至

一年中で、いちばん ひるのみじかい日。 この日、ゆずぶろに入ったり、かぼちゃを 食べると、かぜをひかないといわれていま す。



12月25日 クリスマス

「**アルプスの村のクリスマス」** 舟田 詠子/リブロポート

「サンタクロースってほんとにいるの?」 てるおかいつこ/福音館書店

> 「**クリスマス・キャロル」** ディケンズ / 岩波書店



12月31日 大みそか

一年のほこりをはらい、年こしのじゅんびをします。

図書館しょうかい!

- 山田図書館の巻 -



中岳スキー場へいくとちゅうに、山田公民館があります。 その2かいにあるのが山田図書館です。ひとつのへやの中に 本だなもカウンターもえつらん席もある、小さな図書館です。

さいきんもようがえをして、本をゆっくりさがすところと、じっくり読むところに分けてみました。

大きなまどからは、^流で山々が見えて、とてもきれいです。 ここで本を読んで、ゆったりとすごしてください。



編集·発行 富山市立図書館 富山市丸の内 1 丁目4 - 5 0 電話 076 - 432 - 7272